

# 千話万来

2024年 12月 325号

株式会社シイビイシー 小玉亜衣

人事教育コンサルタント・産業カウンセラー・生産性賃金管理士

TEL 027-266-6855 FAX 027-266-6856

E-mail [kodama@linxcbc.co.jp](mailto:kodama@linxcbc.co.jp)

〒379-2121 群馬県前橋市小屋原町1082-3

## — 今年一年の振り返り —

皆さんにとっての2024年はどんな年でしたか？

良く出来たこと、上手くいったことは何ですか？（どうして良く出来たのか？）

良くできなかったこと、上手くいかなかったことは何ですか？（どうして良く出来なかったのか？）

客観的にどちらのことも振り返り、分析して来年に必ず活かしましょう。

今日一日も、一週間も、一か月も、一つの案件も自分で節目を意識して振り返りをする習慣を身に付けましょう。振り返りをする事で、アウトプットをすることになりますから、記憶の整理も出来て、記憶の定着にもつながります。また、振り返りを行えば「気づき」が出てきます。この「気づき」をいかに次へ活かすことが出来るかが、自身の、部署の、企業の成長にかかわってきます。

振り返りを次に活かす習慣を身に付ける事が大事です。

次の行動へ取り入れることが出来ている企業は成長していきます。

主観的にではなく、客観的に状況を振り返ることが出来るようになると思考の幅や見えてくるものが変わってきます。

## — どこに向かっていますか —

今あなたはどこへ向かって歩いていますか？ 目的地が明確になっていますか？

日々の生活の繰り返しの中、ただ何となく毎日を過ごしていませんか？

散歩のついでに富士山に登った人はいない = 目標なく漠然と歩いているのは、何事も達成出来ない

何となく毎日を過ごし、「いつか」「何か」を達成出来たらいいなあ、なんて考えていても、何も実現しません。目的地がないから、何も変わらない。

「どんな人生を送りたいか」「自分が何者になるのか」という明確な目的地があれば、「今」何をすべきなのか見えてくる。

「今」の行動を積み重ねた先にあるのが未来。目標に近づいている状態。

今を変えることでしか、未来は変えられない。

今を変える第一歩が「夢・目標」という目的地を掲げることです

なんとなく過ごしてしまうともったいない。目的地（目指すところや状態）をしっかり持ち、そこに向かって日々一歩一歩歩いて行けば、少しずつでも目標地点や目的地に進んで行けます。

そして自己肯定感が養われたり、達成感を味わえたり、様々な経験を得ることが出来ます。

## — 現状把握できていますか —

会社としての問題、部署としての問題、個人としての問題、どんな問題に取り組むにしても、まずは現状をありのままに把握することが大事です。

自分の中にある昔から持っているイメージで見えていたり、現状を見ようとしていなかったり、もはや空想でしかないのならば、問題解決には取り組めません。

現場の現実、今の状態、今の状況、今の能力を正しく見て下さい。

自分の主観や価値観(これくらいの量は普通に出来るだろう、このレベルの仕事は問題ないだろう、これくらいできて当然、これくらいの事やるのは当たり前でしょう、普通こうやるよね、これくらい普通でしょう)で見えていませんか?決めつけていませんか?

何年か前の状態や状況や能力と同じですか?働いている人の考え方や価値観は同じですか?

「昔はこれくらいできた」という経営者や幹部の声をよく聞きますが、

その時の社員の技術力と今の社員の技術力を比べた時にどうですか?

昔は労働時間に制限が無く、青天井に仕事をしていませんか?

材料費や最低賃金は同じですか?

顧客の求めてくる基準や要求のレベルが上がっていませんか?

仕組みや管理書類が増えて、事務仕事や承認の回数が増えていませんか?

今の問題を解決したい、改善したいと思うならば、まずは現場の現状をありのままに把握して、受け止めて下さい。スタート地点の把握が出来ていないと、効果的な対策が打てません。

## — 人を大切に —

会社が利用できる資産を指す経営資源には「①ヒト、②モノ、③カネ、④情報、⑤時間、⑥知的財産」の6つがあり、これらの経営資源を会社の経営状態に応じて適切に配分し、適切に管理し、最適なタイミングを図り投資していく必要があります。

経営資源として最重要項目にあげられるのは「人」、すなわち「会社で働く従業員」を指しています。どのようなプロジェクトであっても、全てのプロジェクトは人が動かして行きます。人の力により仕事生まれ、人の力により仕事が納められていくことから、企業活動において何よりも大切なのは「人」なのです。

また広義では、協業先や委託先も含まれてきます。全ての業務をアウトソーシングするとしても、やはり人は、企業活動に必要不可欠な最重要資源であることから、人を大切にすることが、会社経営の大原則であると言えます。

近年、人的資源の不足が懸念される日本企業にとって人材の確保は大きな課題となっています。確保だけでなく、今いる人材の定着や成長も大きな課題です。貴重な資源を大切にしましょう。